

「すべては子どもたちのために」を合言葉に、平成26年度末に策定した「印旛明誠高校2020パワーアップ計画」に基づき、教育活動の一層の充実を図る。

## 1 校訓 「至誠」

## 2 教育目標

教育基本法及び学校教育法に基づき、「幅広い教養」「豊かな人間性」「逞しい心身」の調和と統一がとれ、常に感謝の心を忘れず、社会に貢献できる有為な人間の育成を目指す。

## 3 教育方針

本校の再編の理念の下、以下の方針に基づき、教育活動を展開する。

- (1) 自己教育力を身につけ、創造性・自主性・協調性に富んだ個性豊かな人格の形成を目指し、一人ひとりの興味・関心、適性・能力に応じたきめ細かな授業の創造に努める。
- (2) 校訓「至誠」に則り、まごころと思いやりのある豊かな心を持ち、社会を構成する一員としての自覚や規範意識を備えた人格の形成を目指し、生徒会活動の一層の活性化やボランティア活動・課外活動の推進に努める。
- (3) 「雨にも負けず、風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ」逞しい体力・気力を備え、自律的に生きる人格の形成を目指し、文武両道の充実に努める。
- (4) 情報化・国際化の進展する社会にあって、広い視野と知識を身につけ、様々な課題に柔軟に対応できる人格の形成を目指し、自己表現力の育成と国際理解教育の充実に努める。
- (5) 保護者・地域・関係機関等への情報発信を積極的に行い、地域に信頼され、地域の核となる学校づくりに努める。

## 4 重点目標

\* ( ) 内はH28のデータ

### ◎学力・学習意欲の向上

- ・授業評価において、興味・関心が持てるようになった、理解が進んでいるという実感がある → 85%以上 (83%)
- ・上級学校に進学してさらに学びを深めたい → 70%以上 (64%)
- ・家庭学習をしている → 50%以上 (36%)

ア 生徒の「主体的・能動的」な学びを促すきめ細かな指導の実践

イ 小テスト等の継続的な実施による基礎的・基本的事項の徹底

ウ 学力向上や進路実現に結びつく MEISEI アカデミーの実施

エ 家庭学習習慣の定着に向けた指導の工夫

オ 授業評価アンケートの実施（年2回）による指導方法の工夫・改善

## 5 各目標

### (1) キャリア教育の充実

- ・自らの生き方、あり方について考え、自己実現に向けて努力している → 90%以上
- ・進路選択にあたって、最後まで妥協しないで挑戦し続けた → 70%以上 (88%)

- ア 計画的な進路ガイダンスの実施
- イ 外部人材等を活用した講演会や体験授業、説明会等の実施
- ウ 東京電機大学との連携による高大連携講座の実施

### (2) 生徒指導の充実

- ・出席率 → 99%以上 (98.3%)
- ・社会のルール・学校のルールをきちんと守っている → 95%以上 (95%)
- ・生徒会活動・部活動に積極的に参加した → 80%以上 (71%)

- ア 登校指導及びPTAとの合同による下校指導の実施
- イ 挨拶の励行と歌声の活性化による、生徒の主体的態度の育成
- ウ 全校生徒が充実感・達成感を味わうことができる生徒会活動の実施
- エ 教育相談体制の充実とスクールカウンセラーや養護教諭との連携

### (3) 国際理解教育の推進

- ・世界のことをもっと学びたい → 80%以上

- ア 海外修学旅行の実施（含事前学習における外国人との交流）
- イ 外国人の受入と交流、講演会等の実施

### (4) 地域と共に歩む学校づくり

- ・地域と連携した教育活動が展開されている → 80%以上 (80%)

- ア Web サイトや広報紙を活用した、タイムリーな情報発信
- イ 地域の各種団体や関係機関と連携した活動への積極的な参加（ボランティア活動等）
- ウ 学校公開講座等の実施による本校教育力の地域への還元

### (5) 安全・安心な学校づくり

- ・印旛明誠高校に入学して良かった、雰囲気が良く安心して学校生活を送れている
- ・校内外での事故ゼロを目指す → 90%以上 (89%)

- ア 施設設備等の瑕疵による事故防止を目指した定期及び日常の安全点検の実施
- イ 事故の発生を想定した訓練の実施

### (6) 不祥事の根絶

- ・不祥事を起こさない信念がある、学校は不祥事を起こさない風土がある → 100% (99%)

- ア 不祥事に係る事例等の情報共有（特に、個人情報の管理の徹底）
- イ モラルアップ委員会による取組の推進